

2 個別事業評価調書

団体名: 与謝野町

事業名		がん予防事業					
事業の概要		<p>がんは、生活習慣や食生活の変化、高齢化社会への移行等の要因により、1980年代から日本人の死因の第1位となっている。近年の医療の進歩により、がん治療の分野も発展しているが、特に早期発見・早期治療が重要である。</p> <p>当町でも、健康分野の充実を図ることで「安心と生きがいのある福祉のまちづくり」を目指しており、各種がん検診を実施することは、その実現の一翼を担うものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子宮がん検診細胞診判定結果内容変更に伴うシステム改修</li> <li>・がん検診事業</li> </ul>					
		事業期間	平成22年5月1日～平成22年12月28日				
		総事業費	27,046	本年度事業費	27,046	交付金交付額	13,414
事業評価	事業の必要性	<p>医療技術の進歩により、各種がん検診の精度も飛躍的に向上している。子宮がん検診においても精度向上を目指した新たな方式が構築されており、当町でもその方式に対応したシステム改修を行う必要がある。</p> <p>また、がん治療には早期発見・早期治療が重要であり、受診しやすいがん検診制度を実施する必要がある。</p>					
	事業の有効性	<p>がん検診の充実を図ることにより、住民のがんに対する意識が高まり、受診率の向上によるがんの早期発見・早期治療に繋がる効果がある。</p>					
	事業の効率性	<p>がん検診の充実を図るためのシステム改修を行うことにより、より細分化された判定結果を用いた予防指導ができるようになり、がんの早期発見・早期治療に繋がる。</p> <p>また、がん検診に受診者負担を無料にすることで受診率を高め、早期発見・早期治療を実現する。</p>					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		<p>3 リーディング・モデル成果</p> <p>医療技術の進歩により、各種がん検診の精度も飛躍的に向上している。子宮がん検診においても精度向上を目指した新たな方式が構築されており、当町でもその方式に対応したシステム改修を行うことにより、検診の精度の向上に繋がる。また、がん検診に受診者負担を無料にすることで受診率を高め、早期発見・早期治療を実現する。</p>					
<p>4 広域的波及成果</p> <p>がん検診の充実が住民のがんに対する意識の向上を促すことになり、住民全体の健康増進に繋がる。</p>							
5 行財政改革に資する成果							
<p>6 その他の成果</p> <p>健康分野の充実を図ることで総合計画に掲げる「安心と生きがいのある福祉のまちづくり」の実現を目指す。</p>							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。